

令和5年度 シラバス 【第1学年】

教科名		国語		科目名	現代の国語				
学年	必修/選択	単位	総時数	使用教科書	『新編 現代の国語』(大修館書店)				
1	必修	2	70	補助教材	なし				
授業の概要		国語で適切かつ効果的に表現する能力を育成し、伝え合う力を高める。思考力や想像力を伸ばし、言語感覚を磨き、進んで表現することによって国語の向上や社会生活の充実を図る態度を育てる。							
学習到達目標		言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成することを目指す。							
標準的な到達レベル		各テーマに沿って、他者に対して自分の言葉で論理的に伝えようとしている。他者の意見を読んだり、聞いたりして自分の意見を深めようとしている。							
観点別評価(%)									
		授業姿勢	課題						合計
総合評価割合		33.3	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100
知識・技能			100						100
思考・判断・表現			100						100
主体的に取り組む学習態度		100							100
学習上の留意点									
求められる力(学び直し)		漢字の読み・書きや基本的な語彙の理解をした上で音読できる力、発問等を正確に聴き取り適切な受け応えをする力、ノートやプリント作成などの作業に集中して取り組む力を身につける。							
キャリア教育との関連付け		課題の整理が適切にでき、理解や表現の足りないところは周囲の力を頼ることができるように努める。その場にふさわしいコミュニケーションができるように訓練する。							

教科名		国語		科目名	言語文化				
学年	必修/選択	単位	総時数	使用教科書	『新編 言語文化』(大修館書店)				
1	必修	2	70	補助教材	『新編 言語文化 学習ノート』(大修館書店)				
授業の概要		生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。また、言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。							
学習到達目標		言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成することを目指す。							
標準的な到達レベル		漢字の読み書きをはじめ、高校1年生に必要な語彙力を身につけ、論理的文章を正確に読み取ることができる。物語的文章では、筆者の考え方や登場人物の心情を的確に理解できる。							
観点別評価(%)									
		定期試験	小テスト	課題提出	単元テスト	授業姿勢			合計
総合評価割合		40.0	10.0	20.0	20.0	10.0			100
知識・技能		10	10		10				30
思考・判断・表現		30		10	10				50
主体的に取り組む学習態度				10		10			20
学習上の留意点									
求められる力(学び直し)		漢字の読み・書きや、基本的な語彙の理解をし、音読できる力。発問等を正確に聴き取り適切な受け応えをする力。ノートやプリント作成などの作業を正確に取組む力。							
キャリア教育との関連付け		文章を的確に読み取り、適切に表現する能力を高める。場面や目的に応じて、その場にふさわしいコミュニケーションが取れるようにする。							

教科名		地歴		科目名	歴史総合	
学年	必修/選択	単位	総時数	使用教科書	歴史総合 近代から現代へ	
1	必修	2	70	補助教材	歴史総合 要点チェック	
授業の概要		世界と日本の近現代史を通し社会的事象の歴史的な見方・考え方を基礎・基本を学ぶ中で養い、課題を追究・解決する活動をしていく。あわせて公民としての資質・能力を育成するため、時事的な課題の探究も行う。				
学習到達目標		社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、基礎・基本的内容を身につけ課題を追究・解決する活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者としての資質・能力を育成する。				
標準的な到達レベル		世界と日本の近代から現代にいたる歴史の基礎的・基本的事項や流れについて、理解したことを副教材や資料などをもとに書く・話すことで表現できる。				
観点別評価(%)						
		定期試験	提出物	協同活動		合計
知識・技能		100				100
思考・判断・表現			100			100
主体的に学習に取り組む態度				100		100
各観点での合計		100	100	100		300
100点での合計		70	15	15		100
学習上の留意点						
求められる力(学び直し)	これまで学んできた日本史的内容について、世界史との関連性を国際的視野の中で確認と復習を行い、近現代史の基礎・基本・基本事項を身につける。					
キャリア教育との関連付け	世界と日本の近現代史を学ぶことを通じて、事実にもとづいた歴史認識を身につけ、国際社会の一員として生きていくための力を養う。					

- 3 -

教科名		数学		科目名	数学 I		
学年	必修/選択	単位	総時数	使用教科書	最新 数学 I (数研出版)		
1	必修	3	105	補助教材	3ROUND 数学 I + A (数研出版)		
授業の概要		1年間通して、数学 I の全範囲を学習する。 クラス編成はホームルーム単位で行う。					
学習到達目標		数学 I の諸分野(数と式、2次関数、図形と計量、データの分析)について理解し、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察する能力を培い、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用できるようにする。					
標準的な到達レベル		各分野における基礎的な公式等を理解し、正しく適用することで数値を求めることができる。					
観点別評価(%)							
		定期試験	小テスト	レポート・課題	授業姿勢	ノート記入	合計
総合評価割合		50.0	13.3	16.7	10.0	10.0	100
知識・技能		90	10				100
思考・判断・表現		60	10	20		10	100
主体的に取り組む学習態度			20	30	30	20	100
学習上の留意点							
求められる力(学び直し)	中学校までの既習事項を必要とする。目的意識を持って基礎学力を定着させるよう努力すること。与えられた課題に粘り強く取り組む姿勢。						
キャリア教育との関連付け	・数学の学習を通して物事を多角的にとらえる力を身につける。 ・他者に論理的な説明ができる力を身につける。						

- 4 -

教科名		数学		科目名		数学A				
学年	必修/選択	単位	総時数	使用教科書		最新数学A(数研出版)				
1	必修	2	70	補助教材		3ROUND I+A(数研出版)				
授業の概要		1年間通して、数学Aの単元のうち、場合の数と確率と整数の性質を学習する。 クラス編成はホームルーム単位で行う。								
学習到達目標		数学Aの諸分野(場合の数と確率、図形の性質)について理解し、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、 事象を数学的に考察する能力を培い、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用できるようにする。								
標準的な到達レベル		各分野における基礎的な公式等を理解し、正しく適用することで数値を求めることができる。 (北海道高等学校学力向上推進事業の提供資料、評価規準に準ずる)								
観点別評価(%)										
		定期試験	小テスト	レポート・課題	授業姿勢	ノート記入				合計
総合評価割合		50.0	13.3	16.7	10.0	10.0				100
知識・技能		90	10							100
思考・判断・表現		60	10	20		10				100
主体的に取り組む学習態度			20	30	30	20				100
学習上の留意点										
求められる力(学び直し)		中学校までの既習事項を必要とする。目的意識を持って基礎学力を定着させるよう努力すること。与えられた課題に粘り強く取り組む姿勢。								
キャリア教育との関連付け		<ul style="list-style-type: none"> 数学の学習を通して物事を多角的にとらえる力を身につける。 他者に論理的な説明ができる力を身につける。 								

- 5 -

教科名		理科		科目名		物理基礎				
学年	必修/選択	単位	総時数	使用教科書		新編 物理基礎(数研出版)				
1	必修	2	70	補助教材		新編 物理基礎準拠サポートノート(数研出版)				
授業の概要		物体の運動と様々なエネルギーに関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、物体の運動と様々なエネルギーを科学的に探究するために必要な資質・能力を身につける。								
学習到達目標		物体の運動と様々なエネルギーについて理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などの技能を身につける。また、物理基礎の学習を通して、物体の運動と様々なエネルギーに主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と力を養う。								
標準的な到達レベル		<ul style="list-style-type: none"> 基本的な物理用語、物理現象、公式等を理解し、それを適切に使用・表現できる。 基本的な物理演算ができ、物理現象を定量的に表現することができる。 適切な実験操作、レポート作成、発表ができる。 								
観点別評価(%)										
		定期試験	単元テスト	小テスト	レポート	グループワーク	ファイル提出	課題提出		合計
総合評価割合		50.0	15.0	10.0	5.0	10.0	5.0	5.0		100
知識・技能		25	10	5						40
思考・判断・表現		25	5			5				35
主体的に取り組む学習態度				5	5	5	5	5		25
学習上の留意点										
求められる力(学び直し)		中学校で学習した物理分野の振り返りを通して、物理基礎の学習内容をより理解することを心がける。また、基本的な計算の技能を授業を通して身につける。また、物理現象を日常生活と結びつけることを意識する。								
キャリア教育との関連付け		<ul style="list-style-type: none"> 物理現象を理論的に理解することで、物事を体系的に捉える資質・能力を養う。 定量的な見方・考え方を身につけ、様々な事象を客観的に思考する資質・能力を養う。 学習における他者とのやり取りを通して、適切なコミュニケーション能力を養う。 								

- 6 -

教科名		理科		科目名		化学基礎			
学年	必修/選択	単位	総時数	使用教科書	新編 化学基礎(数研出版)				
1	必修	2	70	補助教材	新編 化学基礎準拠サポートノート(数研出版)				
授業の概要		物質とその変化に関わり、化学の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、物質とその変化を科学的に探究するために必要な資質・能力を身につける。							
学習到達目標		物質とその変化について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などの技能を身につける。また、化学基礎の学習を通して、物質とその変化に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と力を養う。							
標準的な到達レベル		<ul style="list-style-type: none"> 基本的な化学用語・元素記号・化学式等を理解し、それを適切に使用・表現できる。 基本的な物質量の計算や化学反応式を理解し、それを適切に使用・表現できる。 適切な実験操作、レポート作成、発表ができる。 							
観点別評価(%)									
		定期試験	単元テスト	課題	レポート	ノート	協働活動		合計
総合評価割合		50.0	15.0	10.0	15.0	5.0	5.0	0.0	100
知識・技能		25	10						35
思考・判断・表現		25		5	5				35
主体的に取り組む学習態度			5	5	10	5	5		30
学習上の留意点									
求められる力(学び直し)		中学校で学習した化学分野の振り返りを通して、化学基礎の学習内容をより理解することを心がける。また、基本的な計算の技能を授業を通して身につける。また、化学現象を日常生活と結びつけることを意識する。							
キャリア教育との関連付け		<ul style="list-style-type: none"> 化学現象を理論的に理解することで、物事を体系的に捉える資質・能力を養う。 定量的な見方・考え方を身につけ、様々な事象を客観的に思考する資質・能力を養う。 学習における他者とのやり取りを通して、適切なコミュニケーション能力を養う。 							

- 7 -

教科名		保健体育		科目名		体育			
学年	必修/選択	単位	総時数	使用教科書	現代高等保健体育(大修館書店)				
1	必修	3	105	補助教材					
授業の概要		様々な種目を通し、自らの体力を高めるとともに、集団行動に必要な技能を習得する。各種目のスキルテストを実施し、運動の基礎基本を身につける							
学習到達目標		各種目の基礎・基本をもとに、周囲と協力し練習やゲームに取り組むことができる。自主的・自律的に集団行動をとることができる。							
標準的な到達レベル		運動に興味・関心を持ち、自らの体力を高めようとする事ができる。各種目の基礎的・基本的な技能を習得することができる。							
観点別評価(%)									
		活動観察	スキルテスト	ノート記入	授業姿勢	グループ学習			合計
総合評価割合		13.3	16.7	23.3	20.0	26.7	0.0	0.0	100
知識・技能		20	20	20	20	20			100
思考・判断・表現		0	20	30	20	30			100
主体的に取り組む学習態度		20	10	20	20	30			100
学習上の留意点									
求められる力(学び直し)		自らの体力を高めようとする能力(方法を理解すること、実践すること)各種目の基本的なルールの理解と基本的な技術の習得							
キャリア教育との関連付け		ソーシャルスキル(挨拶・礼儀・コミュニケーション能力)の向上 生涯にわたってスポーツに触れるための基盤を作る(プレイだけでなく観戦・応援)							

- 8 -

教科名		保健体育		科目名	保健				
学年	必修/選択	単位	総時数	使用教科書	現代高等保健体育(大修館書店)				
1	必修	1	35	補助教材	現代高等保健ノート(大修館書店)				
授業の概要		個人および社会生活における健康・安全について理解を深めるようにし、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していくための資質や能力を育てる。							
学習到達目標		健康で安全な生活を送るための知識や能力を身に付けることができる。							
標準的な到達レベル		自らの健康について興味・関心を持ち、授業に取り組むことができる。							
観点別評価(%)									
		授業姿勢	ノート記入	小テスト	グループ学習	レポート・作品		合計	
総合評価割合		13.3	23.3	33.3	13.3	16.7	0.0	0.0	100
知識・技能			20	40		40		100	
思考・判断・表現		20	20	40	20			100	
主体的に取り組む学習態度		20	30	20	20	10		100	
学習上の留意点									
求められる力(学び直し)		保健の内容は、中学で学習する内容と重複しています。もう一度、基本的なことから学習し直し、健康を保持増進させる知識や能力を身に付けます。							
キャリア教育との関連付け		グループ学習の中で、自らの考えを発信する能力を高める。健康な生涯を送っていくための基礎を学ぶ。							

- 9 -

教科名		芸術		科目名	音楽 I				
学年	必修/選択	単位	総時数	使用教科書	高校生の音楽 I				
1	選択	2	70	補助教材	リコーダーライブラリー MUSIC NOTE				
授業の概要		歌唱、器楽による基礎・基本的な技術力・表現力の向上、またそれらによって生まれる、楽しみ喜びを味わう。多様な音楽に興味・関心を持ち、幅広く鑑賞する能力を育てる。							
学習到達目標		音楽の幅広い活動を通して、技術面のみならず表現活動の素晴らしさ、楽しさを味わう。							
標準的な到達レベル		1 正しい音程、リズムを把握することができ、客観的な観点から多様な音楽の良さを感じ取るができる。 2 基本的な楽典を理解することができる。							
観点別評価(%)									
		実技試験	小テスト	レポート・作品	口頭発表	活動観察		合計	
総合評価割合		23.3	20.0	20.0	13.3	23.3	0.0	0.0	100
知識・技能		40	40		10	10		100	
思考・判断・表現		30	20	30	10	10		100	
主体的に取り組む学習態度				30	20	50		100	
学習上の留意点									
求められる力(学び直し)		音楽を形づくっている要素とそれらの働きを表す用語や記号などについて、音楽活動を通して理解する。							
キャリア教育との関連付け		音楽表現の豊かさや美しさを感じ取り、基礎的な表現の技能を身に付け、創造的に表現する能力を育て自己を表現する力を養う。							

- 10 -

教科名		芸術		科目名		書道 I			
学年	必修/選択	単位	総時数	使用教科書		書道 I (光村図書)			
I	選択	2	70	補助教材		高校硬筆の練習			
授業の概要		1 古典臨書(楷書・行書・仮名)とその応用(住所・氏名、校歌作品)を実施します。 2 創作制作(カレンダー制作など)を実施します。							
学習到達目標		1 課題作品の線質、字形の構成・疎密感・抑揚、全体構成等を表現できる。 2 意欲を持って集中力を高め、それを最後まで持続できる。							
標準的な到達レベル		1 筆の機能を理解して課題作品の特徴(線質・字形等)を紙面に表現できる。 2 集中力を持って作品作りに取り組むことができる。							
観点別評価(%)									
		レポート・作品	授業姿勢	口頭発表	ノート記入				合計
総合評価割合		43.3	26.7	10.0	20.0	0.0	0.0	0.0	100
知識・技能		40	30	10	20				100
思考・判断・表現		50	10	20	20				100
主体的に取り組む学習態度		40	40		20				100
学習上の留意点									
求められる力(学び直し)		1 中学校時の書写授業を振り返り、高校書道としての作品制作をする力を養ってもらいます。 2 静寂な中で紙面に対峙する集中力を培ってもらいます。							
キャリア教育との関連付け		1 礼儀礼節を大切に、「見る、聞く、書く」の書道の基本的な動作を養います。 2 作品を自己評価することにより向上心を養い、よりよい作品を制作する力を培います。							

- 11 -

教科名		外国語		科目名		英語コミュニケーション I			
学年	必修/選択	単位	総時数	使用教科書		All Aboard! English Communication I (東京書籍)			
I	必修	4	140	補助教材		eラーニングで身につける初級英語・入門			
授業の概要		英語を通して、言語や文化に対する理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図り、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする基礎的な能力を養う。							
学習到達目標		簡単な物語や身近な事に関する文章や指示を理解することができる。また、英語を使って簡単なやりとりをしたり、自分の意見を述べたり、文章を書くことができる。							
標準的な到達レベル		よく使われる日常的表現と基本的な言い回しは理解し、自分や他人のことをについての情報を伝達する際に活用することができる。また、簡単なやりとりを支援が得られればすることができる。							
観点別評価(%)									
		定期試験	小テスト	Pテスト	プリント	授業姿勢			合計
総合評価割合		35.0	10.0	30.0	15.0	10.0			100
知識・技能		65	15	20					100
思考・判断・表現		35		45	20				100
主体的に取り組む学習態度			20	20	20	40			100
学習上の留意点									
求められる力(学び直し)		初歩的な語句や文、定型表現を理解することができ、話したり、書いたりする場面で活用できるようにする。中学校で学んだ基本的な語彙や文法を身に付け、身近なこと、自分のことについて表現できるようにする。							
キャリア教育との関連付け		ペア・グループワークなどを通して、自分の意見を発信する力、異なる意見を聞く力、自ら課題を見つけ、調べる力を養う。							

- 12 -

教科名		情報		科目名	情報 I			
学年	必修/選択	単位	総時数	使用教科書	最新情報 I (実教情 I 705)【実教出版】			
I	必修	2	70	補助教材	最新情報 I 新課程版 学習ノート【実教出版】			
授業の概要		情報ネットワークの世界で自分自身を守るための知識、スキルや情報モラルが身につくよう学んでいきます。教科書を中心に毎時間、継続的に座学・実習を行います。						
学習到達目標		提出課題の期日を厳守し、積極的に実習演習課題に取り組むことができ、基本的なスキルを身につけます。						
標準的な到達レベル		情報の特徴と情報化が社会に及ぼす影響を理解し、情報機器等を効果的に活用したコミュニケーション能力や情報の創造力・発信力等を身につけます。						
観点別評価(%)								
		定期試験	作品実技	提出物	授業姿勢			合計
総合評価割合		46.7	26.7	16.7	10.0			100
知識・技能		70	20	10				100
思考・判断・表現		70	20	10				100
主体的に取り組む学習態度			40	30	30			100
学習上の留意点								
求められる力(学び直し)		職業生活を送るための基礎的な知識や技術・技能に関する学習の機会を充実させ、自己の進路や職業についての理解を深め、将来の進路を主体的に選択決定できる能力を育成します。						
キャリア教育との関連付け		理解できる力、実践する力、評価する力を形成し、公序良俗に反することなく豊かな社会の創造を実現できる確かな学力を身に付けていきます。						

- 13 -

教科名		総合		科目名	ベーシックスタディ(BS)			
学年	必修/選択	単位	総時数	使用教科書	なし			
I	必修	1	35	補助教材	デジタル教材「すらら」・『漢字ボックス』			
授業の概要		義務教育段階の国語、数学、英語の学び直しを行うとともに、高等学校での教科・科目の学習に必要な基礎的・基本的な知識・技能の定着を図る。						
学習到達目標		国語・英語の基礎を学び、語彙を豊かにする。基本的な計算方法を理解する。						
標準的な到達レベル		国語や英語の基礎を理解し、適切に表現することができる。基本的な計算方法を理解し、正確に計算できる。						
観点別評価(%)								
		定期試験	小テスト	取組率				合計
総合評価割合		33.3	33.3	33.3				100
知識・技能			100					100
思考・判断・表現		100						100
主体的に取り組む学習態度				100				100
学習上の留意点								
求められる力(学び直し)		義務教育段階の国語、数学、英語の学び直しを行うとともに、高等学校での教科・科目の学習に必要な基礎的・基本的な知識・技能の定着を図る。						
キャリア教育との関連付け		基礎的・基本的な知識・技能を活用して課題を解決するために必要な能力を育み、デジタル教材を用いて主体的に学習に取り組む態度を養う。						

- 14 -